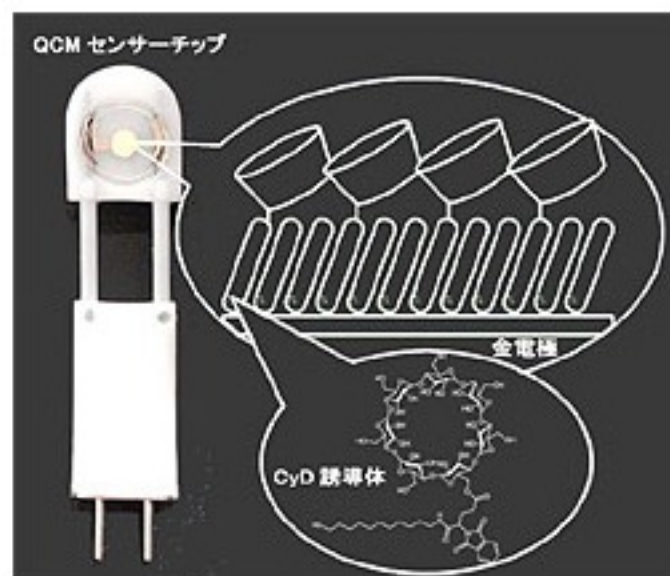


## 包括化合物の高密度固定化技術を利用したQCMセンサーチップ

概要・品質・性能

生体関連物質の認識分子として用いられるシクロデキストリンは固定化することで化学センサーや分離カラムとして利用することができる。従来からその目的に対して様々な化学修飾法が提案されてきたが、より簡便な化学修飾法を開発し、それをQCMセンサーチップの金電極表面上への高密度固定化技術に適用した。その結果、高生産性と高感度を両立した化学センサーを創製できた。この化学修飾法は、センサー表面上の認識分子の高分子化などにも応用可能である。



用途

- (1) 環境ホルモンの定量など微量の有機化合物の検出・定量に応用可能
- (2) インプリント高分子を導入することで特定の蛋白質の検出をするバイオセンサーとして応用可能

技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与
- (2) 相手先 問わない
- (3) 地域 国内に限る

実用化・情報

[試作・実験] 完了  
 [製造・販売実績] 有り  
 [技術情報の提供] 技術資料  
 [情報提供者] 芝浦工業大学 知的財産本部  
 [連絡先] 産学官連携・知財管理課  
 TEL.03-5859-7180 FAX.03-5859-7181  
 (生体材料研究室 松村一成先生)

特許等